

# TNTmips Free/Basic/Pro の違い

## TNTmips Free —GIS 学習用ツール

TNTmips Free は GIS の学習者向けの無料バージョンです。TNTmips Free はデモ版ではありません。完全な機能一式を備えた地理空間解析ソフトウェアです。TNTmips Free と TNTmips Pro は全く同じプログラムです。違いは、無料版である Free にはプロジェクトで利用可能な地理データのサイズ、数、レイヤ構造の複雑さに制約があることと、いくつかの上級者用機能が無い点です。



データサイズ、表示するレイヤの数、機能によって必要とするライセンスを選択して下さい。

## TNTmips Basic —小規模プロジェクト用

TNTmips Basic は無料ではありませんが TNTmips Free に比べやや大きめのサイズのデータを扱え、地理空間解析機能も強化されています。TNTmips Free はいつでも TNTmips Basic にアップグレードできます。

TNTmips Basic にアップグレードすることにより今まで使えなかったいくつかの機能が使用可能になります。画像やシェイプ、CAD、LIDAR 等の座標付き地理データを任意に組み合わせて、世界中のどこでも 3D モニタや 3D テレビ (アナグリフ) を使ってフルカラー 3D で表示できます。インターネットが使えれば microimages.com でマイクロイメージ社が公開している画像を使って世界中どこでも 3D 表示できます。2D 表示を 3D 表示に変えるには、ローカルの DEM データや microimages.com サイトで公開しているグローバル標高データを使います。

## TNTmips Pro —全機能制限無し

TNTmips Pro は現在入手可能な最も統合的な専門家向け地理空間解析ソフトです。競合する製品の入門レベルのバージョン (そのうちに多くの追加エクステンションとモジュールが必要になります) を購入するよりずっと低価格です。TNTmips Pro の総合的な地理空間解析機能の全てが 1 つの価格に含まれます。

使用可能な地理データ :	Free	Basic	Pro	
ラスターや画像のセル数 (総画素数)	1,000,000	4,000,000	制限無し <sup>1</sup>	
各レイヤ内のベクタ要素数	ポイント	1,500	3,000	制限無し
	ライン	1,500	3,000	制限無し
	ポリゴン	500	1,000	制限無し
	ラベル	1,500	3,000	制限無し
各レイヤ内の CAD 要素数	エレメント	500	1,000	制限無し
	ブロック	5	5	制限無し
各レイヤ内のシェイプ要素数	500	1,000	制限無し	
各レイヤ内の LIDAR ポイント数	500,000	2,000,000	制限無し	
各テーブルのレコード数	1,500	3,000	制限無し	
各表示画面について				
カラー 3D (ステレオ) 表示	×	○	○	
Bing Maps レイヤの使用	×	×	○ <sup>2</sup>	
同時に開けるウィンドウ数	2	2	制限無し	
グループ数	10	10	制限無し	
各グループのレイヤ数	20	20	制限無し	
レイヤ総数	50	50	制限無し	
ラスタータイルセット (Web/ ローカル)	×	○	○	
タイルセットへのレンダリング	×	○	○ <sup>3</sup>	
フィーチャマッピング				
クラス数	9	9	制限無し	
地物の総数	100	100	制限無し	
Web での公開 <sup>4</sup>				
タイルセットの作成・管理	×	×	○	
タイルセットのマッシュアップ	×	×	○	
生産作業				
SML が使えるか	×	△ <sup>5</sup>	○	
ジョブ処理が使えるか <sup>6</sup>	×	×	○	
最大印刷可能サイズ	A3/12x17	A3/12x17	制限無し <sup>3</sup>	
テーブル表示の保存	×	○	○	

**TNTmips Basic 2013 価格\***

コンピュータロック・ライセンス **24,000 円 (税別)**  
(USB ライセンスキー無し / オンラインによる承認)

キーロック・ポータブルライセンス **26,400 円 (税別 / 送料別)**  
USB ライセンスキーを使用。PC の変更が可能なポータブルライセンス。

ネットワークライセンス 1 ライセンス **26,400 円 (税別 / 送料別)**  
1 個の USB フローティングライセンスキーを使用。  
同一ネットワーク内の複数台 PC で同時使用可能。

**TNTmips Basic 紹介ページ:**  
[http://www.opengis.co.jp/img/catalog/tntinfo/basic\\_outline.pdf](http://www.opengis.co.jp/img/catalog/tntinfo/basic_outline.pdf)

**TNTmips Basic 注文用紙ダウンロードページ:**  
[http://www.opengis.co.jp/img/info/tntbasic\\_order.pdf](http://www.opengis.co.jp/img/info/tntbasic_order.pdf)

\* 価格は米ドルの相場に連動して改訂いたしますので、現在の価格を価格表でご確認下さい → [http://www.opengis.co.jp/img/info/kakaku\\_list.pdf](http://www.opengis.co.jp/img/info/kakaku_list.pdf)

1) "制限無し" とは TNTmips Pro で作成・使用できるレイヤ内の要素数に制限が無いことを意味します。しかし、ご使用のハードウェア、他のソフトウェア、OS などの使用環境により制約が出る場合があります。

2) TNTmips Pro にはマイクロソフトの Bing Maps の画像と道路レイヤを TNT の画面で直接表示できるライセンスが付いています (ライセンス料はマイクロイメージ社によって支払われています)。このライセンスは 2013 年 1 月の TNTmips Pro のリリースまで有効です。

3) TNT 画面のレイアウトを直接 A3 または 12x17 インチ (297 x 420mm) 以上のサイズの用紙に印刷したりレンダリングするには P15 オプションが必要です。TNTmips の別売りオプションは P15 だけです。

4) TNTmips Pro ではラスター、ベクタ、CAD、シェイプ、DEM、タイルセット (ラスター、KML、SVG)、他の地理データタイプを作成、組み合わせ、それらを Google マップ、Bing Maps、Google Earth、OpenLayers、World Wind で表示、使用できます。

5) SML はマイクロイメージ社が開発した C 言語に似た地理空間スクリプト言語です。SML 言語の用途としては、①クエリ (検索用の条件式) の構築、②表示環境におけるツールスクリプトやマクロスクリプトでの使用、③ジオフォーミュラ (串刺し演算) および④独立 (スタンドアロン) したプログラミング環境での使用、などがあります。TNTmips Basic では SML を使用することができますが、上記④の用途では使用することができません。④については TNTmips/edit/view の各 Pro 製品が必要です。

6) TNTmips Pro のジョブ処理を使うと、同じ、もしくは異なる独立した解析処理やタスクを PC の各プロセスに割り当てて同時に実行できます。これにより処理能力を大きく上げることができます。